



## 盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和3年11月29日

総務部危機管理防災課

### もりおか暮らしのアンケート集計結果について

東日本大震災により被災し盛岡市内に転居している方に対し、今後の支援活動の参考とするため、現在の仕事・健康等の状況及び今後の居留意向等を尋ねるアンケートを実施し、結果を取りまとめましたのでお知らせします。

#### 記

1 対象

497世帯（令和3年9月28日現在）

東日本大震災以降盛岡市に転居し、現在も市内に居住している世帯の意見を代表する方、又は世帯主（主たる生計維持者）の方

2 回答数

251世帯（50.5%）

3 実施期間

令和3年10月14日～11月4日

4 調査方法

郵送，原則無記名

5 調査結果

別紙のとおり

盛岡市総務部危機管理防災課 担当：長澤 創

〒020-8530 盛岡市内丸12番2号

TEL：019-613-8386（直通）

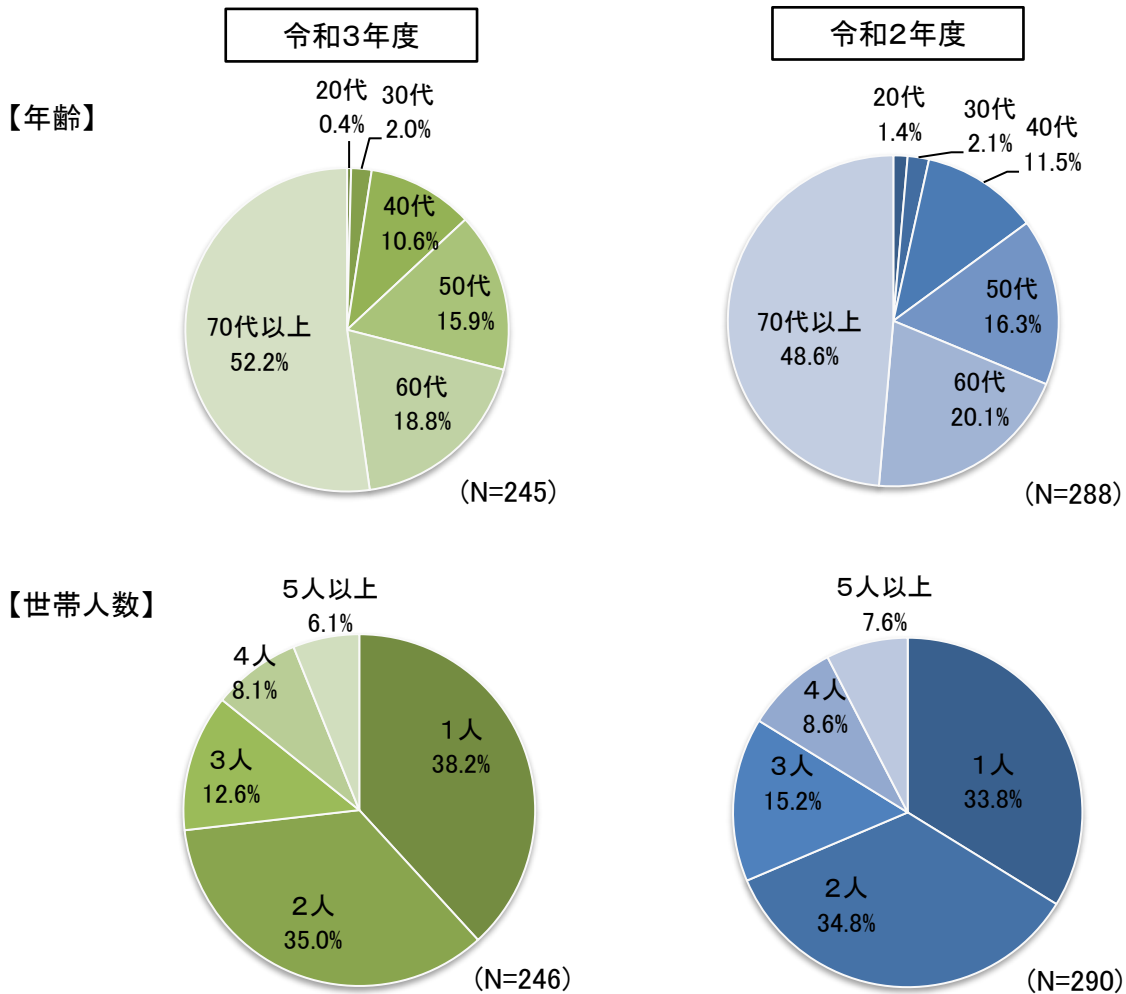
FAX：019-622-6211（代表）

MAIL：kikikanri@city.morioka.iwate.jp

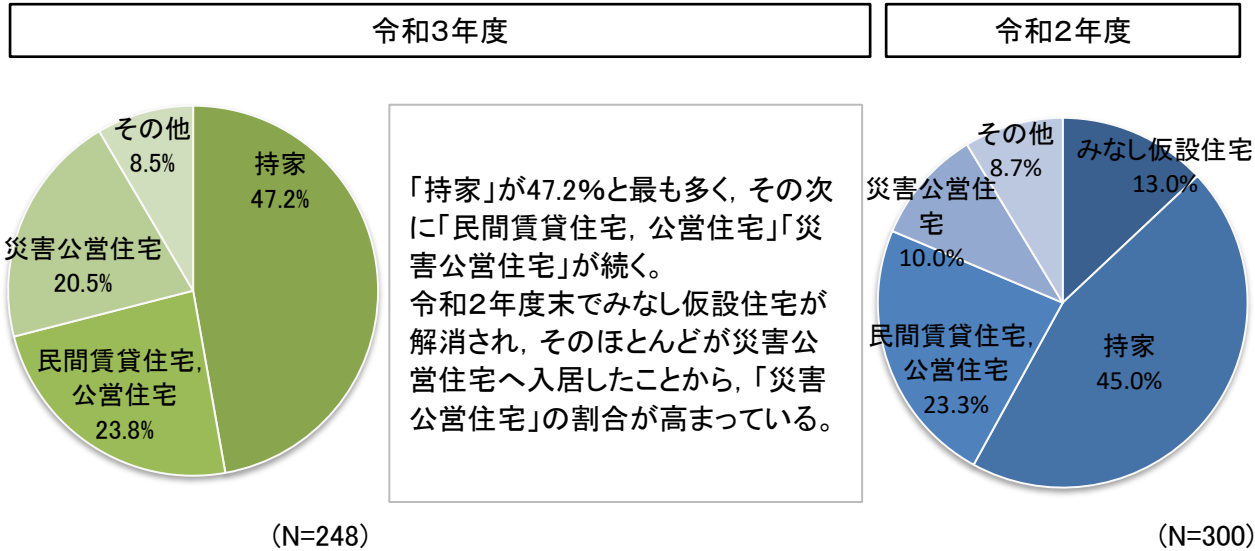
# もりおか暮らしのアンケート集計結果

年度	令和3年度	令和2年度
対象	東日本大震災以降盛岡市に転居し、現在も市内に居住している世帯の意見を代表する方、又は世帯主(主たる生計維持者)の方 (令和3年9月28日時点)	東日本大震災以降盛岡市に転居し、現在も市内に居住している世帯の意見を代表する方、又は世帯主(主たる生計維持者)の方 (令和2年9月18日時点)
対象数	497世帯	508世帯(内みなし75世帯, その他433世帯)
回答数	251世帯	297世帯(内みなし46世帯, その他251世帯)
回答率	50.5%	60.6%
実施期間	令和3年10月14日～11月4日	令和2年10月16日～11月9日
調査方法	郵送, 原則無記名	郵送, 原則無記名

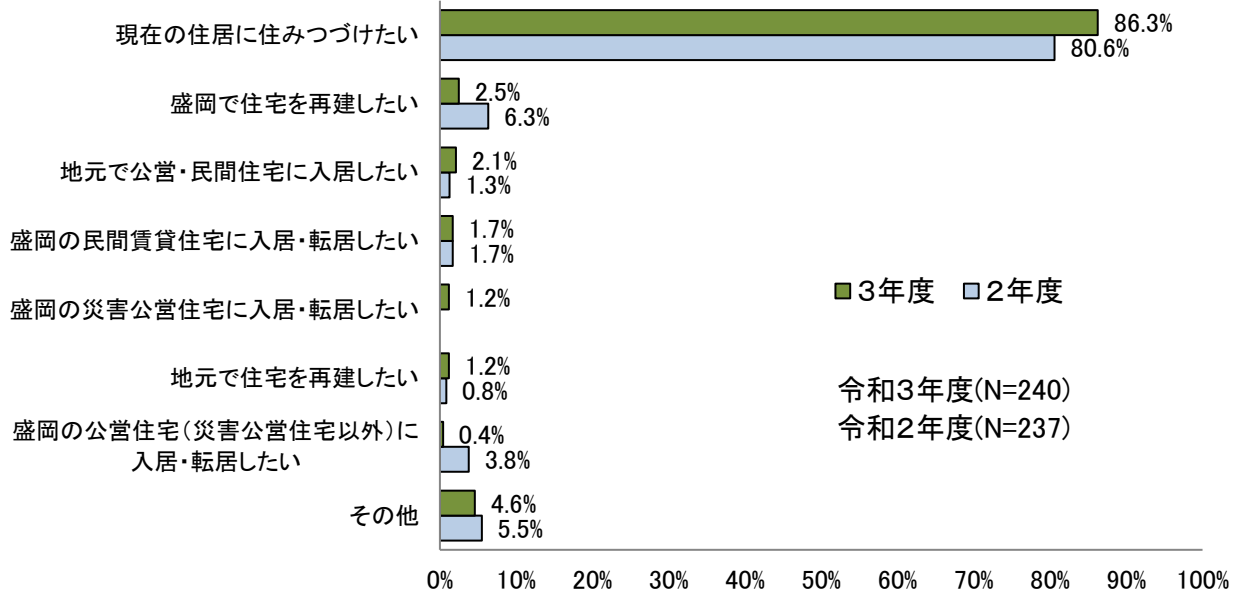
## 回答者の属性



◆問1 あなたは、現在どのような住居にお住まいですか。

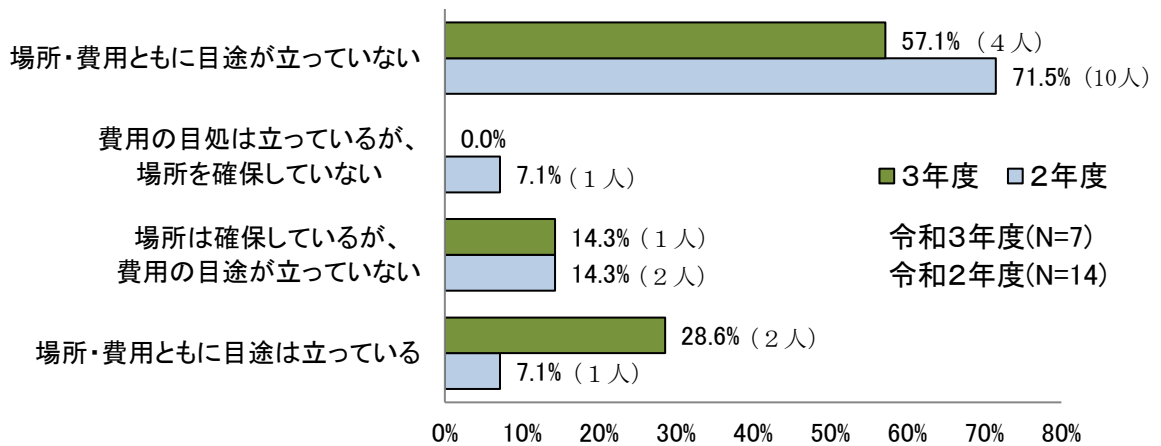


問1-1 これからの住まいをどのようにしたいと考えていますか。

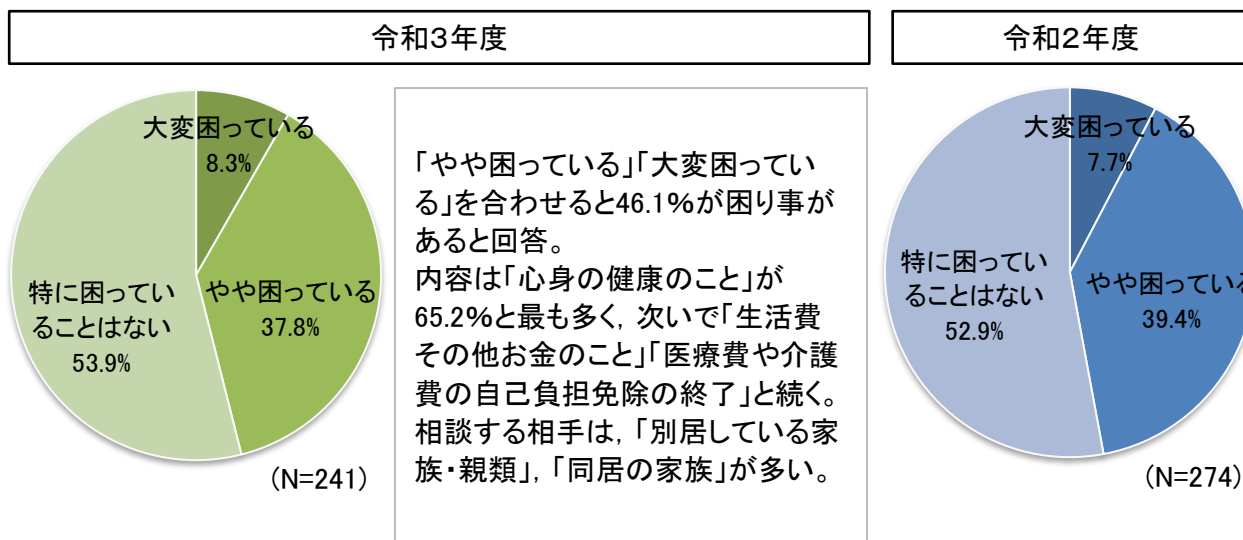


[問1-1で「住宅を再建したい」と回答した方にお伺いします。]

問1-2 住宅再建の目途は立っていますか。

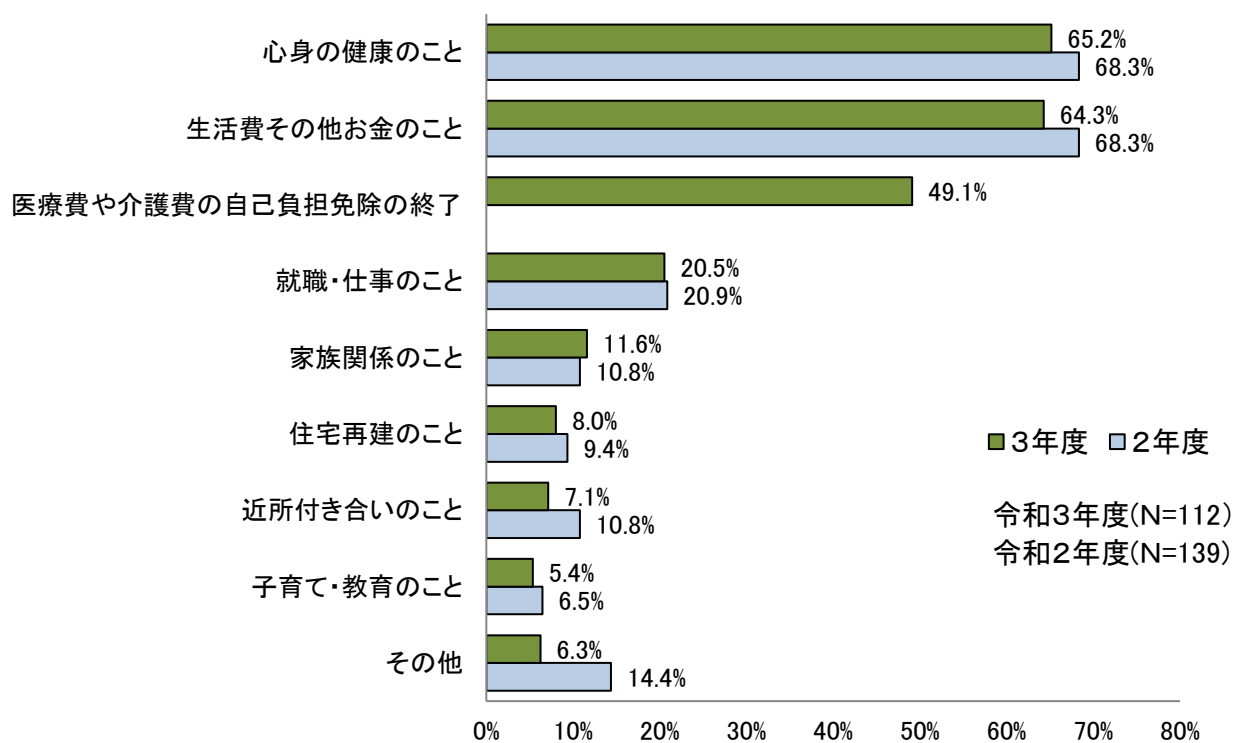


◆問2 あなたの暮らしの状況を教えてください。



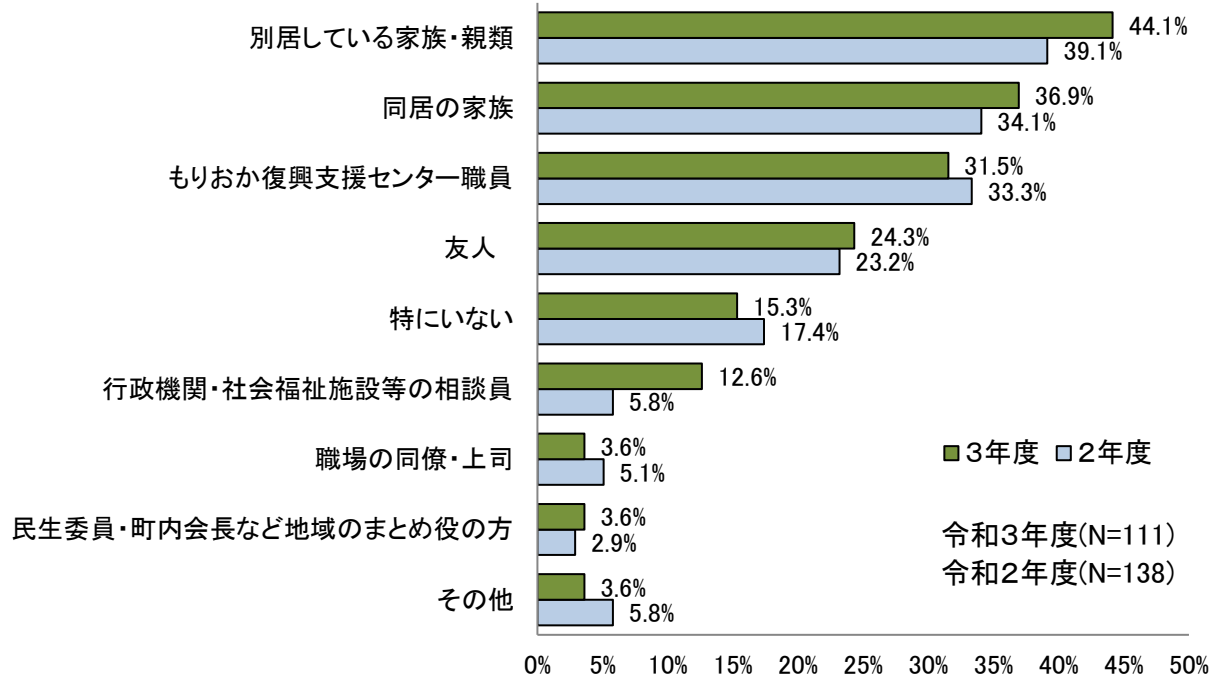
[問2で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。]

問2-1 現在の困り事や心配事は何ですか。(複数回答)

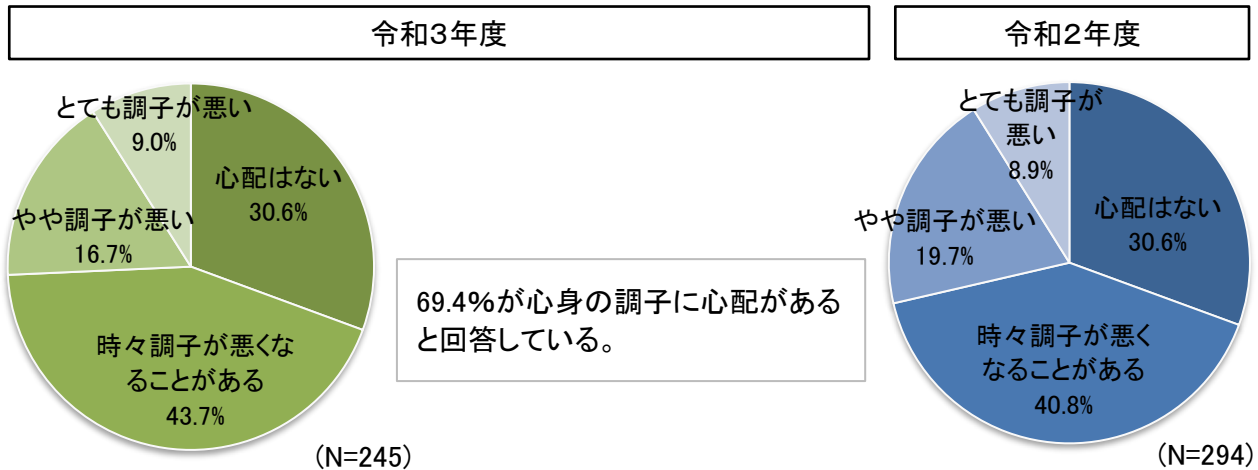


〔問2で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。〕

問2-2 生活上の困り事や心配事を相談する相手は誰ですか。(複数回答)

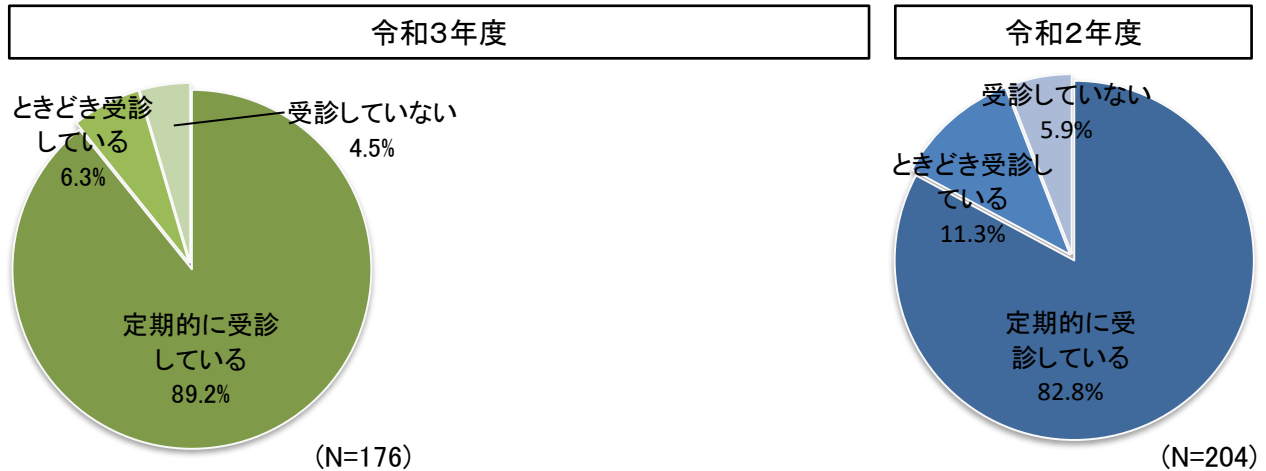


◆問3 あなたの心身の健康の状況を教えてください。

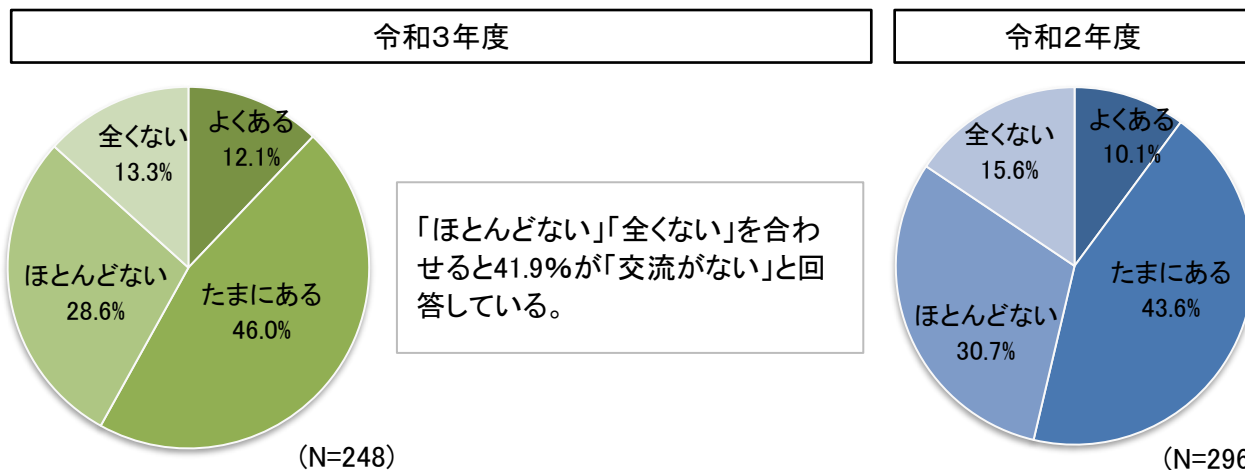


〔問3で「時々調子が悪くなることもある」「やや調子が悪い」「とても調子が悪い」と回答した方にお伺いします。〕

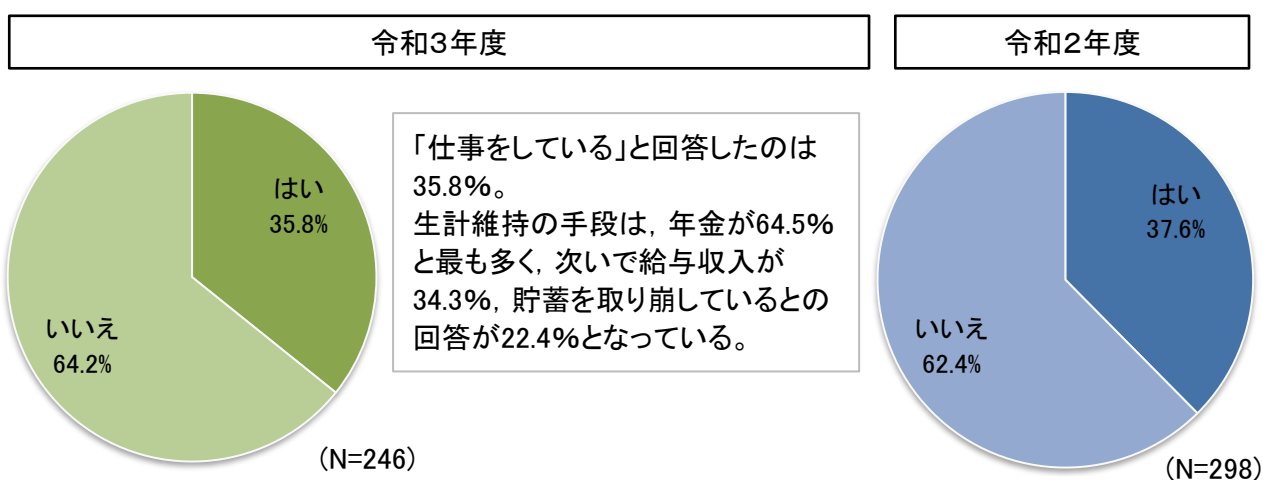
問3-1 現在、医療機関を受診していますか。



◆問4 近所の方と交流はありますか。

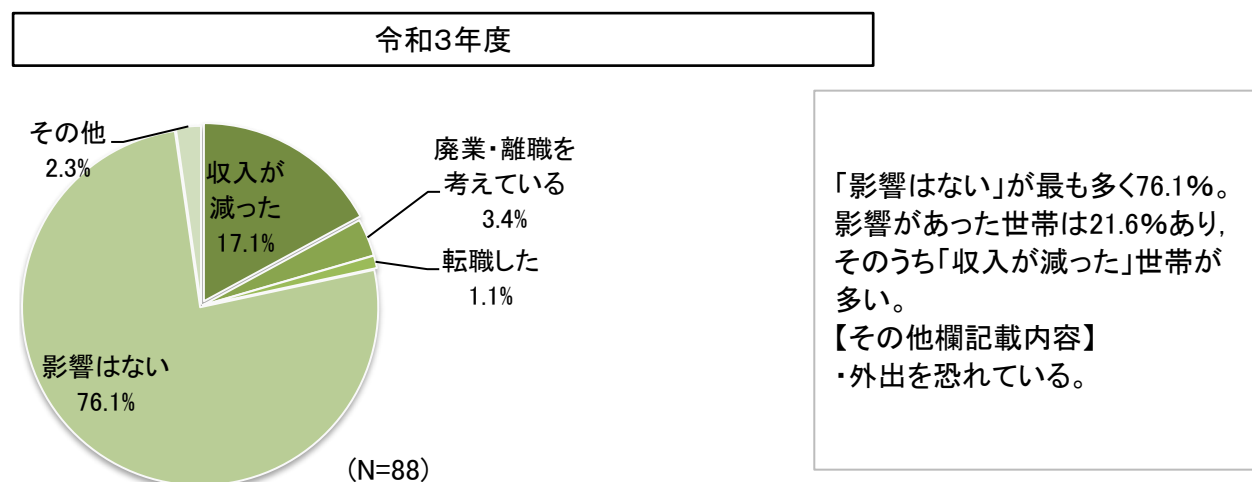


◆問5 あなたは、現在仕事をされていますか。



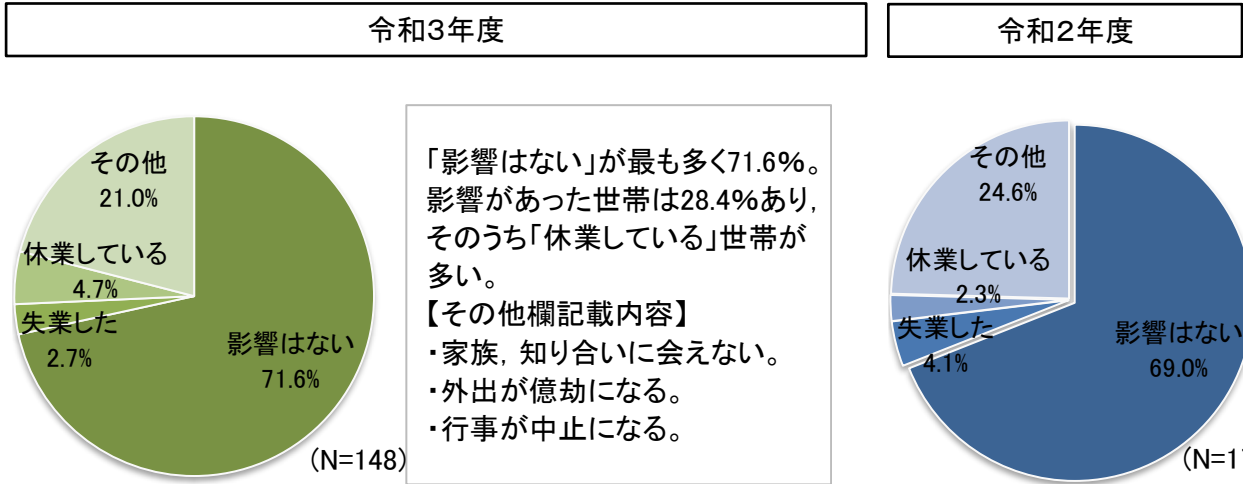
[問5で「はい」と回答した方にお伺いします。]

問5-1 新型コロナウイルス感染症による影響はありますか？（R3新設の質問）

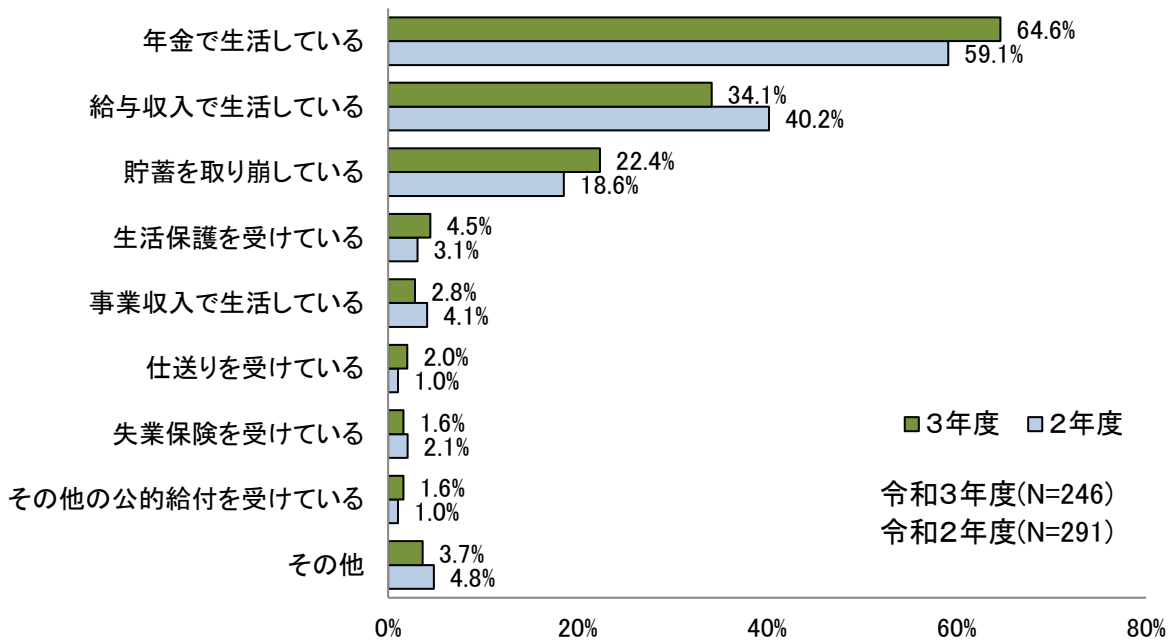


〔問5で「いいえ」と回答した方にお伺いします。〕

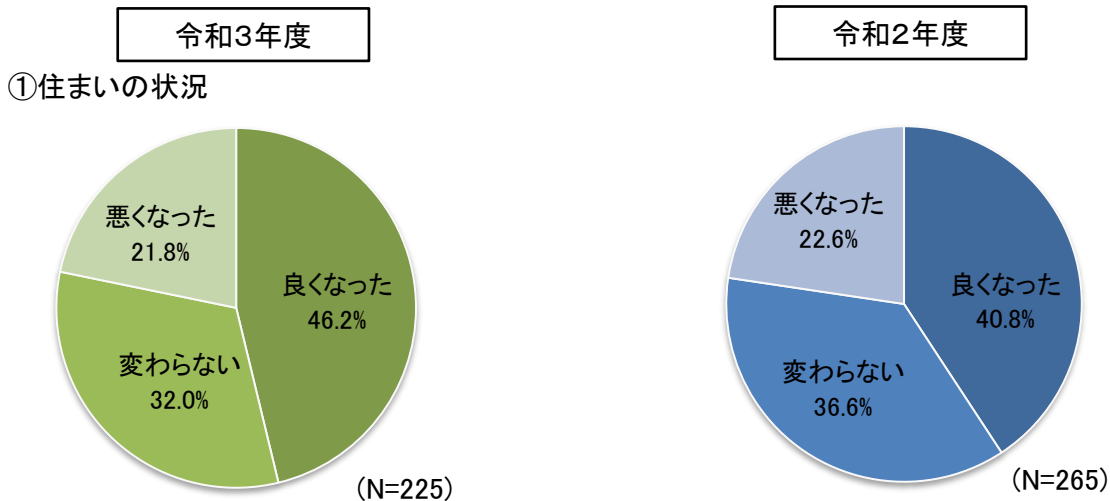
問5-2 新型コロナウイルス感染症による影響はありますか？



◆問6 あなたの世帯は、どのように生計を維持していますか。(複数回答)

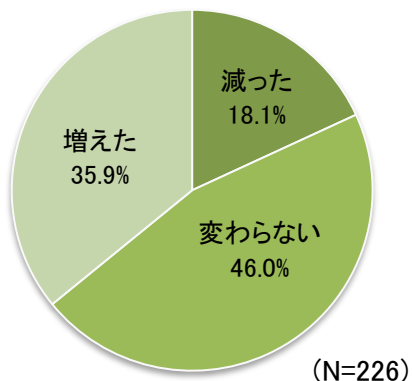


◆問7 東日本大震災の直後と比較して、あなたの現在の暮らしはいかがですか。

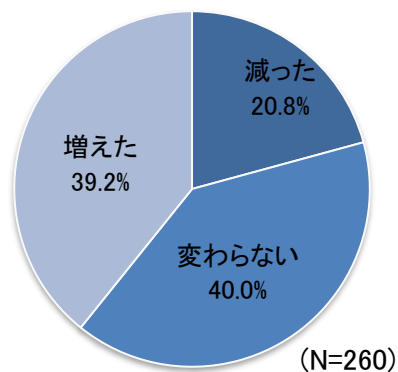


令和3年度

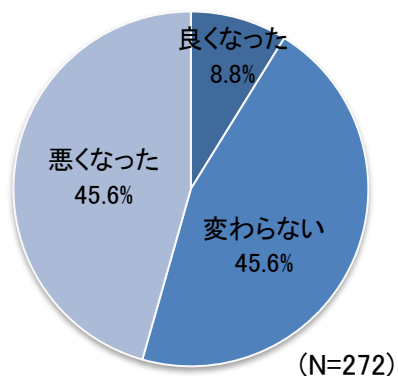
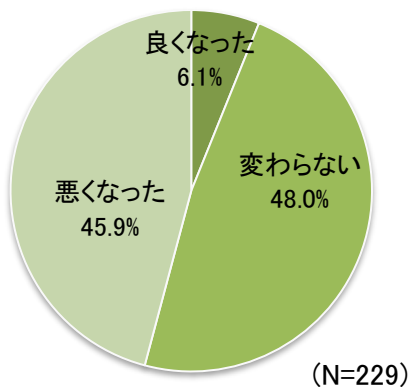
②困り事



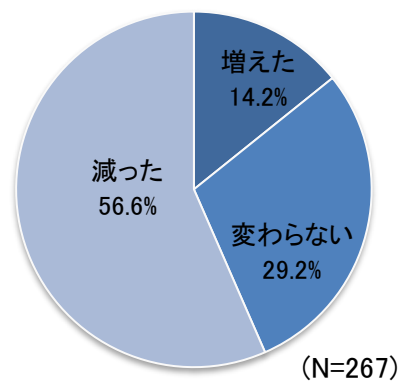
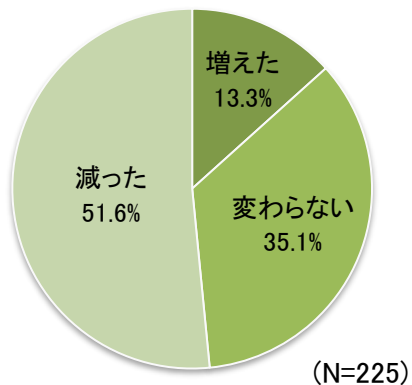
令和2年度



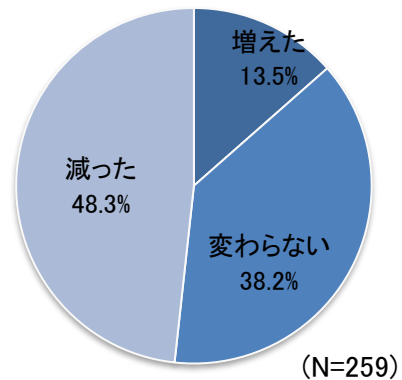
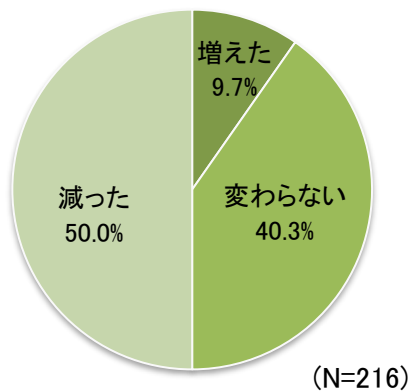
③健康状態



④人との繋がり



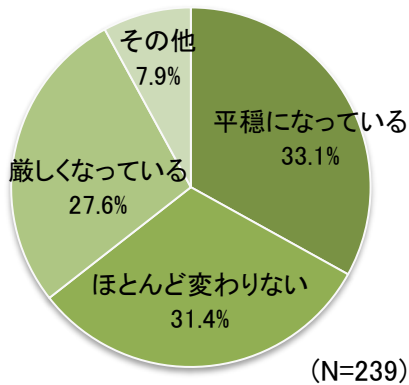
⑤収入





◆問8 東日本大震災直後と比較して、あなたの気持ちの面でどのように変化していますか。(R3新設)

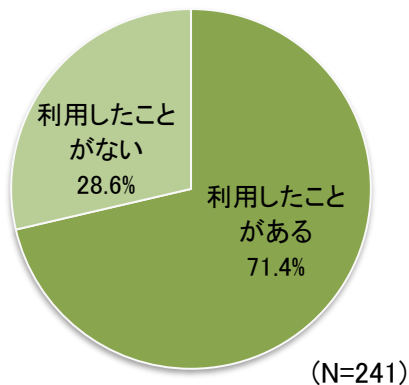
令和3年度



「平穩になっている」が最も多く33.1%と割合が最も高いが、「ほとんど変わらない」が31.4%、「厳しくなっている」が27.6%となった。

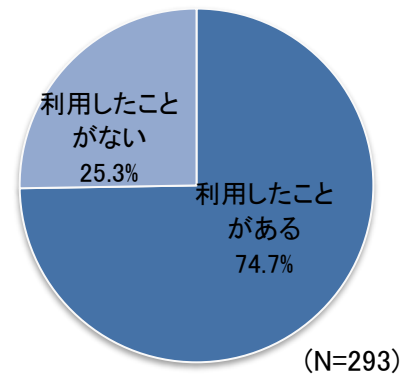
◆問9 あなたは、もりおか復興支援センターを利用したことがありますか。

令和3年度



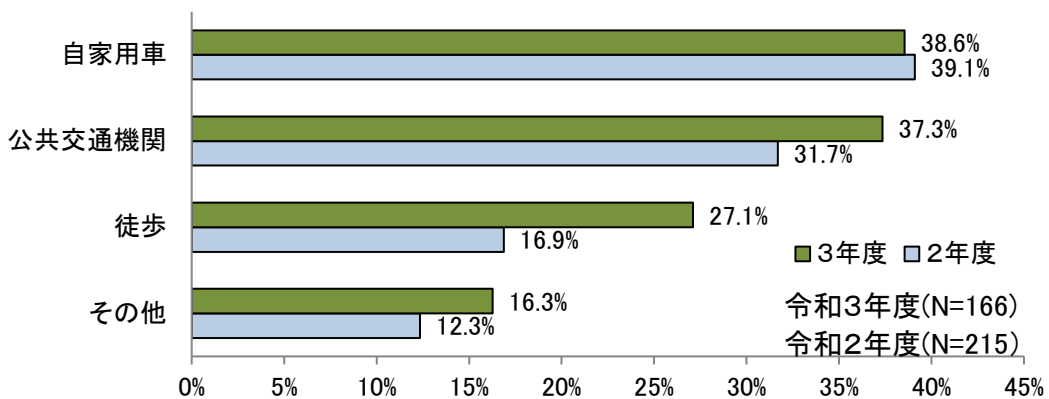
71.4%が「利用した事がある」と回答。利用目的は「必要な情報を収集するため」が59.8%と最も多く、「困り事や心配事の相談のため」、「お茶っこ飲み会やサークル・サロン活動に参加するため」が次いで多い。

令和2年度



〔問9で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問9-1 あなたは、どのような交通手段でもりおか復興支援センターを利用しましたか。(複数回答)

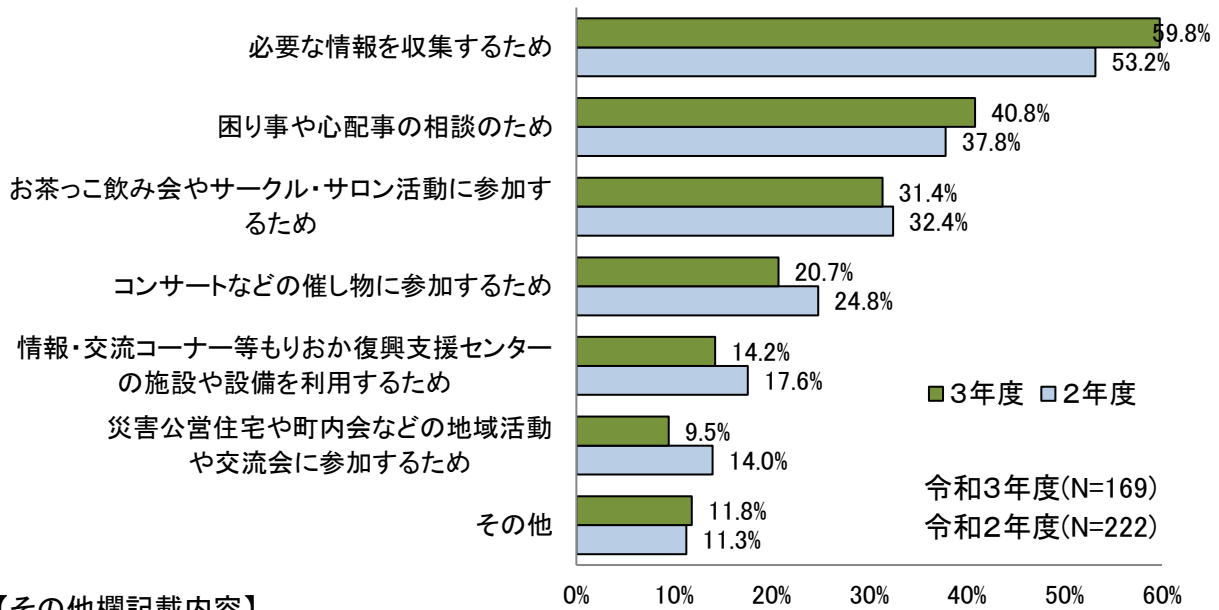


【その他欄記載内容】

- ・自転車
- ・家族等の送迎
- ・タクシー
- ・職員の訪問や電話による対応のため施設利用なし

〔問9で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問9-2 あなたは、もりおか復興支援センターをどのように利用しましたか。(複数回答)



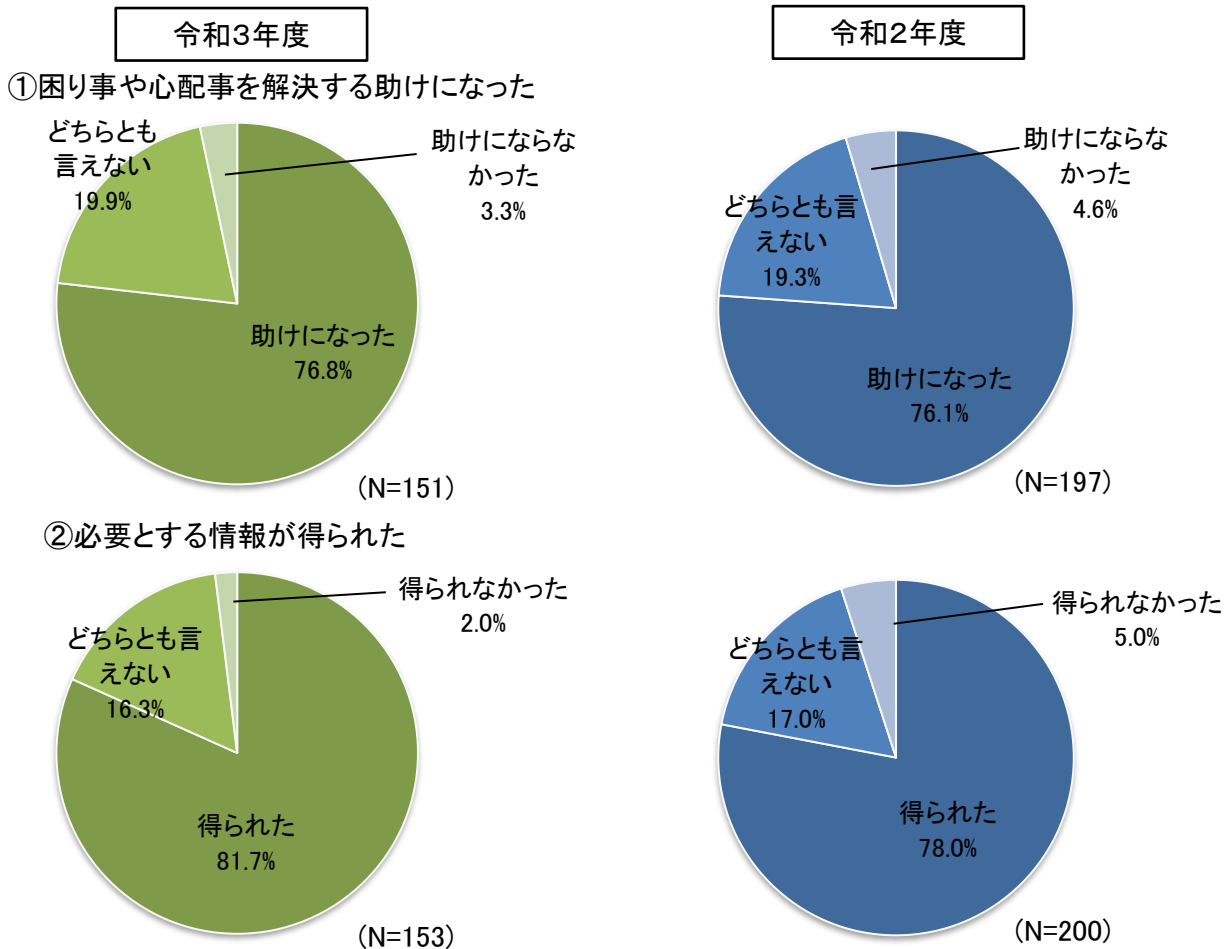
【その他欄記載内容】

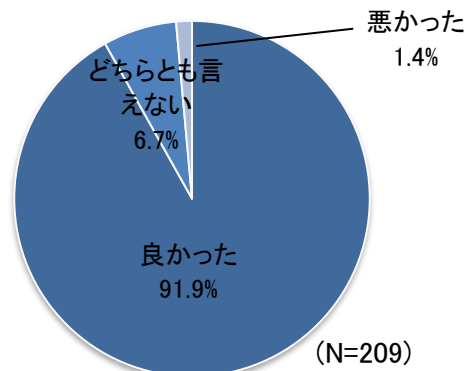
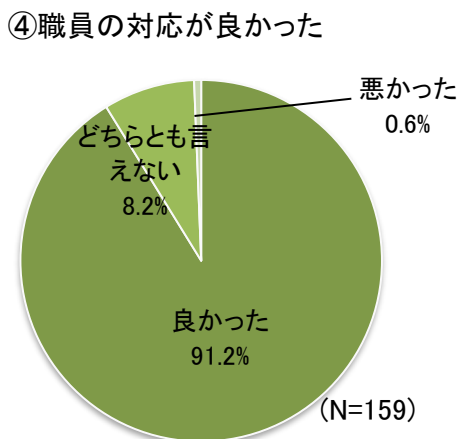
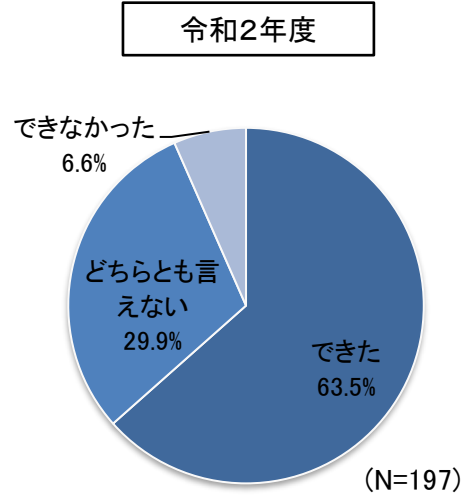
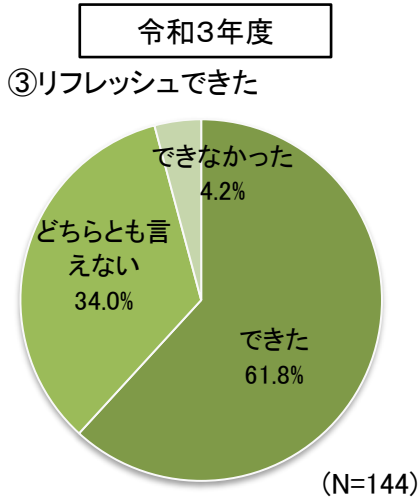
- ・人の顔が見たくて
- ・当初の支援物資供給時に利用

・ワクチン接種予約

〔問9で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問9-3 あなたは、もりおか復興支援センターを利用してどのように感じましたか。



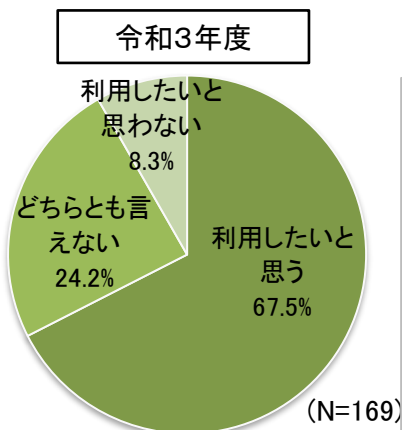


**【自由記載欄】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。**

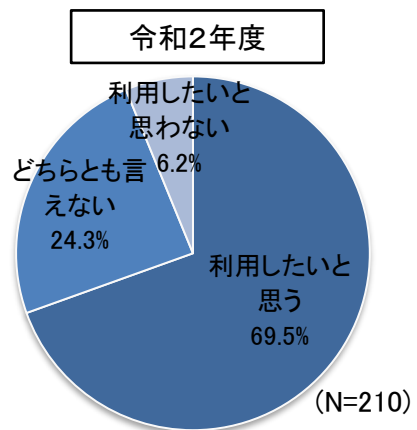
- ・体調を悪くして入院の時いつも付き添ってくれたり本当に助かっています。
- ・知らない盛岡に来て情報源になり、他人との会話を通し癒された。
- ・支援センターに顔を出さず職員の方が満面の笑顔で迎えて下さり前を向いて生きる事が出来ました。
- ・声掛けよく月1回は利用させて頂いています。
- ・自宅訪問はうれしいです。センターに行くより、楽です(足が悪いので)
- ・初めの頃情報を得る為に行きました。盛岡に慣れるにつれて行くことは無くなりました。最近は、番屋が近いのでそちらに行っています。
- ・盛岡に来たばかりの時は本当に助けられました。感謝だけです。
- ・もう10年もたっている。もういらないと思います。
- ・STAFFによって対応が違います。特に男性STAFFは上から目線の対応がち。全体的に冷たい。

[問9で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。]

**問9-4 あなたは、もりおか復興支援センターを今後も利用したいと思いますか。**

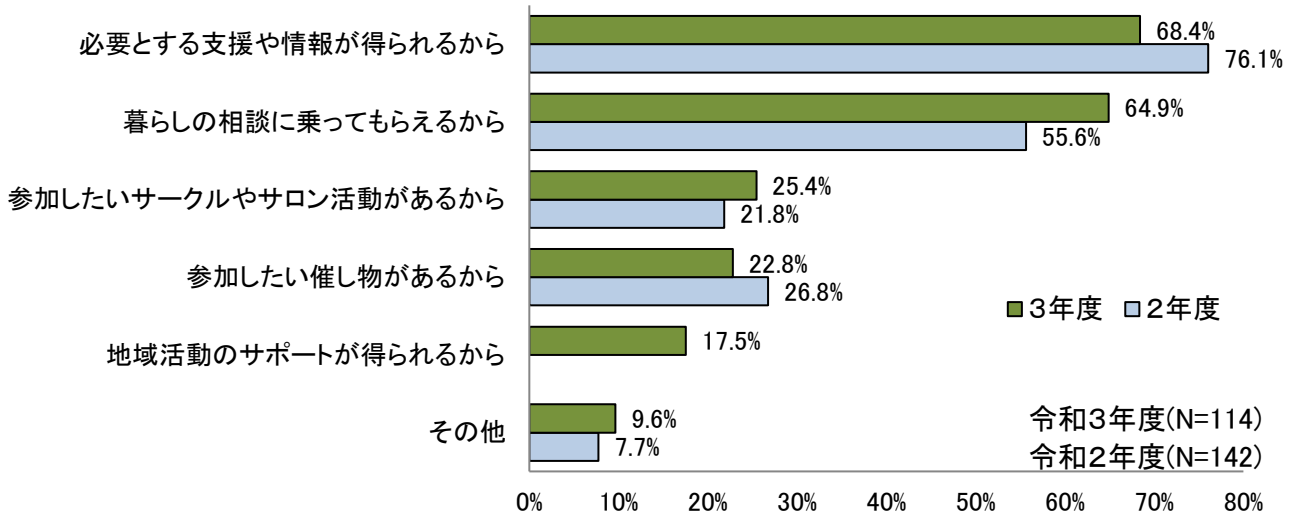


67.5%が「利用したいと思う」と回答。今後も利用する理由では、「必要とする支援や情報が得られるから」が最も高く、利用しない理由では「暮らしに困っていないから」が最も高い。



〔問9-4で「利用したいと思う」と回答した方にお伺いします。〕

問9-5 あなたが、もりおか復興支援センターを今後も利用したいと思う理由を教えてください。(複数回答)

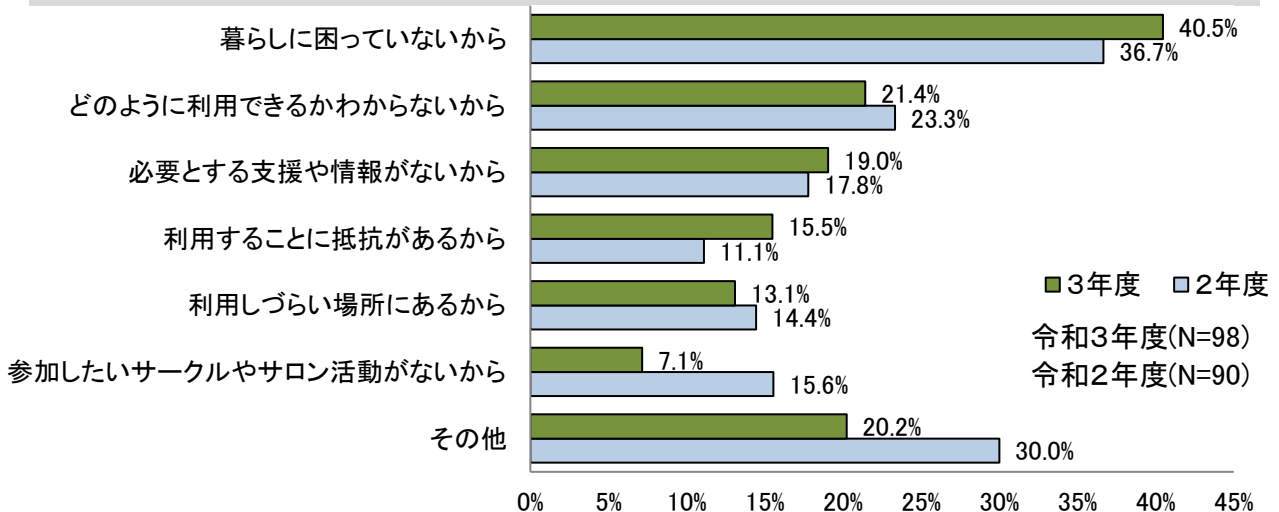


【その他】

- ・お茶っこ会, 市内散策, 等気晴らしに参加させてもらっています。
- ・支援センターに行くのが気持ちがいいです。今回も予防接種の予約等お世話になりました。
- ・復興センターより月1-2回きて現在も話相手になってくれます
- ・同じ境遇の親近感
- ・コロナ禍が収束したら集会なども今よりは活発になるのを楽しみにしています
- ・震災後からの経緯を知っている顔なじみの職員の方が担当してくれているので、安心感がある。
- ・何かあった時相談できるから、なくさないでほしい。
- ・必要な時は遠慮せずに利用させてもらっている。
- ・あまり線引きせず柔軟な対応をすべき。これはムリという回答が多いし結構待たされることも有。STAFFの質がよろしくないor人数の問題が起因されるのか？

〔問9で「利用したことがない」、問9-4で「利用したいと思わない」と回答した方にお伺いします。〕

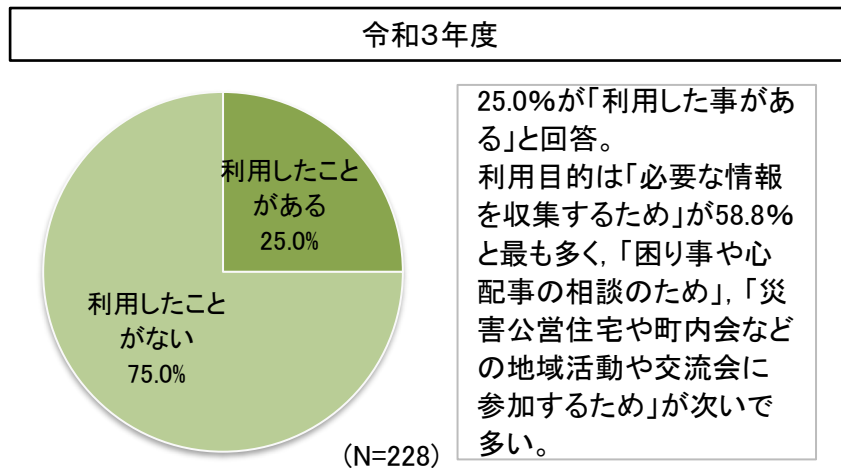
問9-6 あなたが、もりおか復興支援センターを利用しない、今後利用しようと思わない理由を教えてください。(複数回答)



【その他】

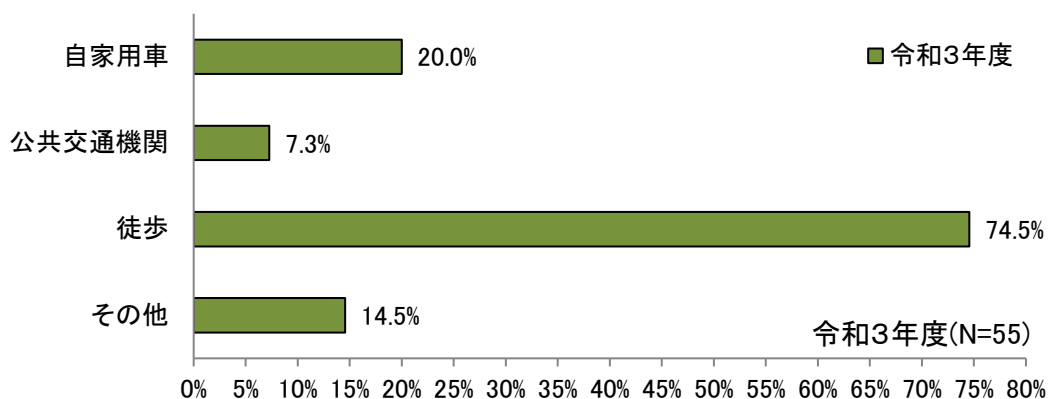
- ・老人ホームにいるし、自分で外出できない。
- ・孫の面倒を見ていてなかなか参加できない
- ・場所が遠いため。
- ・催し物の殆どが平日で、なかなか参加できない(平日は仕事のため)
- ・相談に行ったが知識不足で、間違った情報を調べもしないで伝えられ、利用したいと思わなくなった
- ・辛い事相談した事に話は聞いてくれるが答えはかえってこない
- ・もりおか復興支援センターを知らなかった

◆問10 あなたは、青山コミュニティ番屋を利用したことがありますか。【R3新設】



〔問10で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問10-1 あなたは、どのような交通手段で青山コミュニティ番屋を利用しましたか。(複数回答)

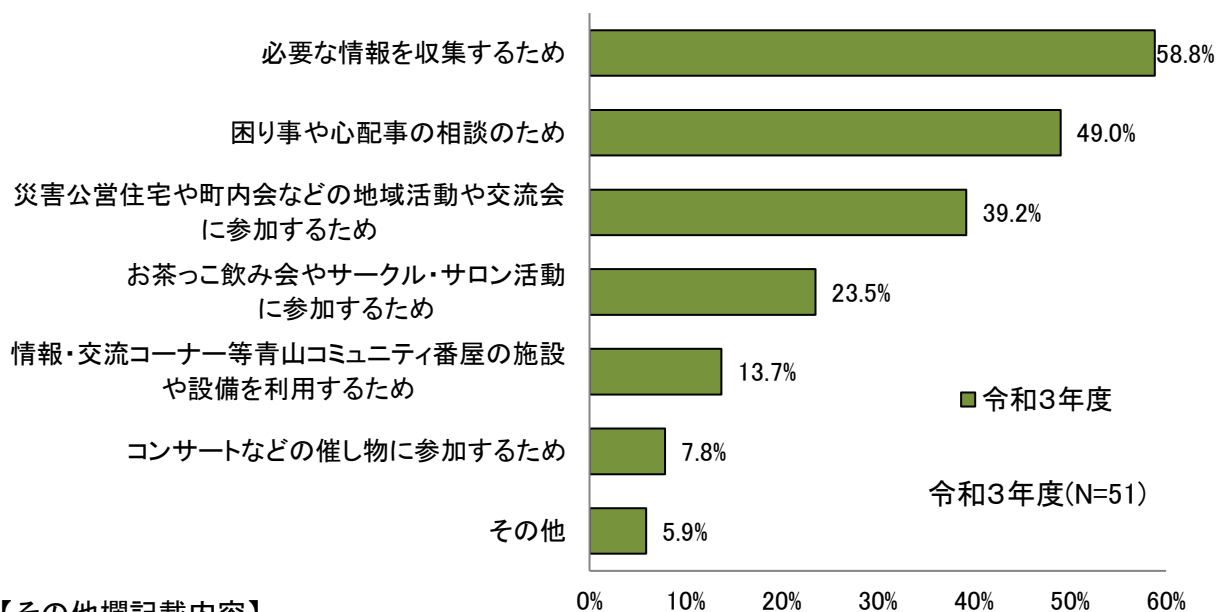


【その他欄記載内容】

- ・自転車
- ・電話

〔問10で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問10-2 あなたは、青山コミュニティ番屋をどのように利用しましたか。(複数回答)【R3新設】



【その他欄記載内容】

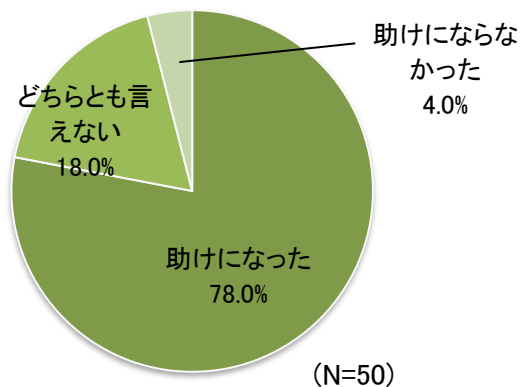
- ・歴史講座
- ・灯籠づくり

〔問10で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

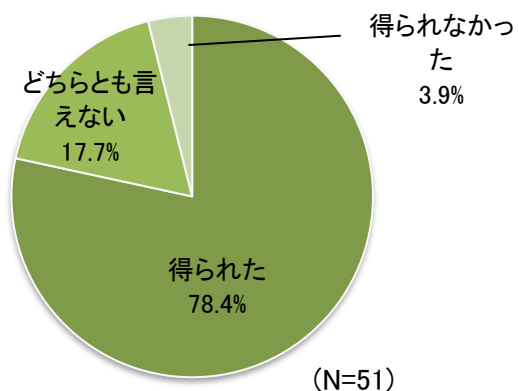
問10-3 あなたは、青山コミュニティ番屋を利用してどのように感じましたか。【R3新設】

令和3年度

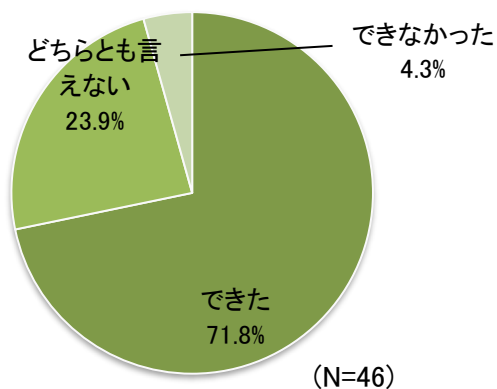
① 困り事や心配事を解決する助けになった



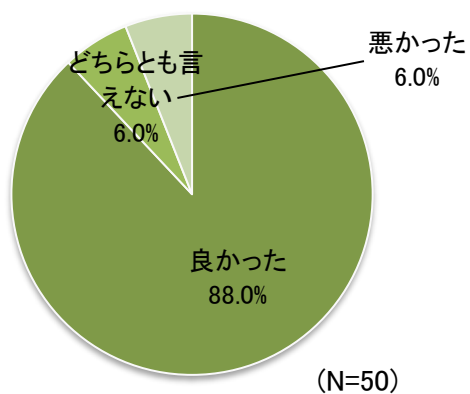
② 必要とする情報が得られた



③ リフレッシュできた



④ 職員の対応が良かった

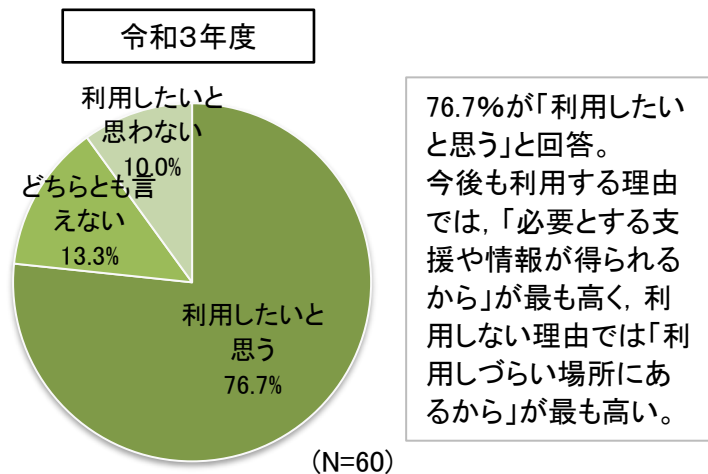


【自由記載欄】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・これからも存続してほしいです。
- ・コロナのワクチン予約サポートしてもらった。
- ・感謝のみ。
- ・近くに来たので、心強い。徒歩、自転車で行けるし、職員も知っている。
- ・色々住民のために企画してくれたり今も助けられてるまま…ですね。

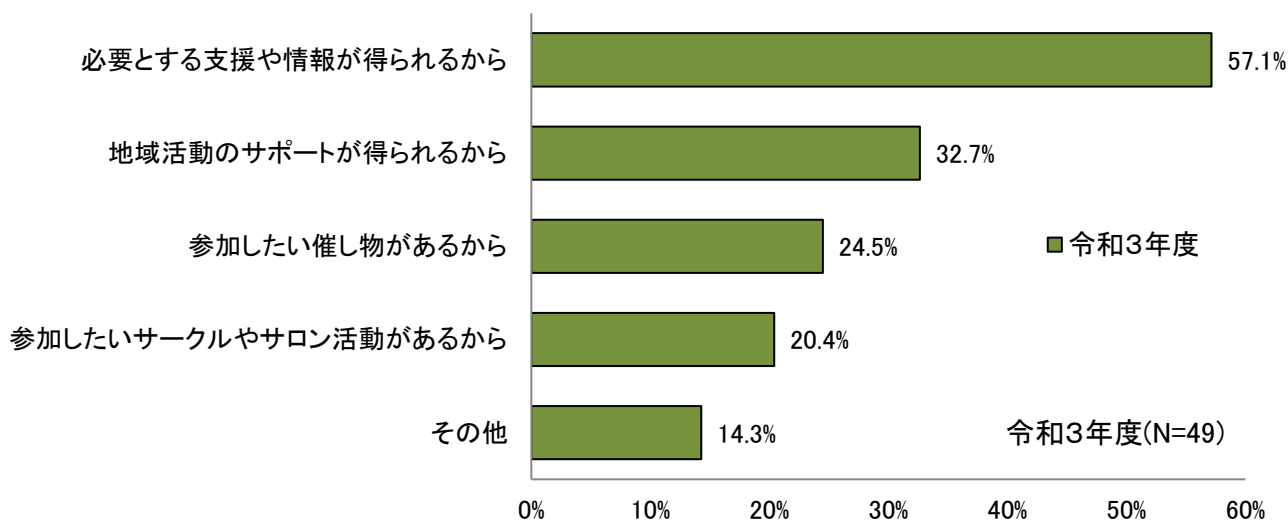
〔問10で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問10-4 あなたは、青山コミュニティ番屋を今後も利用したいと思いますか。【R3新設】



〔問10-4で「利用したいと思う」と回答した方にお伺いします。〕

問10-5 あなたが、青山コミュニティ番屋を今後も利用したいと思う理由を教えてください。(複数回答)【R3新設】

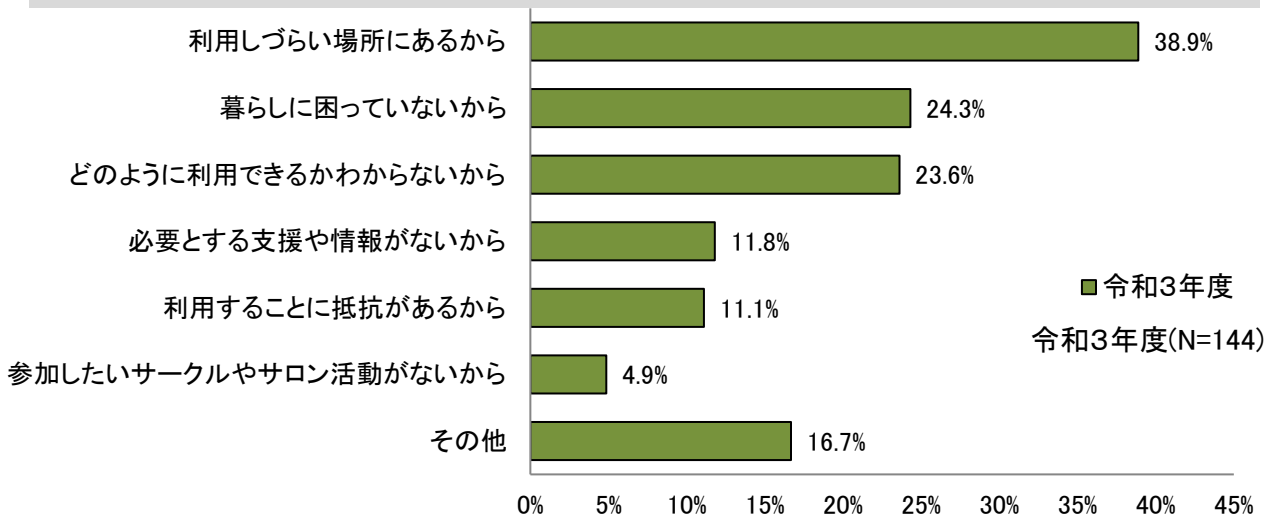


【その他】

- ・番屋の人達は何にでも考えてくれています。青山コミュニティ番屋がなかったら今自分1人で生活も本当にくらい生活を送っていたと思うし、友達も出来ました。
- ・職員がやさしい。話しやすい。
- ・同じ被災者同士で親しく話したいから。
- ・青山地区にでき近所になかったから、今後利用していきたいと思う。
- ・災害(岩手山の噴火、水害、地震等)があった時、避難場所(避難所)になると思うし、備蓄品もあると思うので、そのあとのフォロー(共助・公助)もあると思うので心強い。東日本震災時の経験もあるので(支援センターが)続けてほしい。
- ・色々な思いを抱えている方、それぞれの立場での心の声はあると思います。様々な方とのコミュニケーションをしたいです。

〔問10で「利用したことがない」、問10-4で「利用したいと思わない」と回答した方にお伺いします。〕

問10-6 あなたが、青山コミュニティ番屋を利用しない、今後利用しようと思わない理由を教えてください。(複数回答)【R3新設】



【その他】

- ・住んでいる場所から遠い。
- ・復興支援センターを利用しているから
- ・存在を知らなかった。
- ・催しの情報を知らない。コロナが落ち着いたら参ります。グループ活動…？地域別に分けていただければ出席しやすいと思います。
- ・仕事で参加できず残念に思っています。
- ・行きたいサロン活動が平日で土、日の休日にあわない
- ・言葉遣いの下手なSTAFFがおられます。
- ・相談をしたが、まちがった情報を教えられた。



◆問11 今後市に実施してほしい支援などのほか、盛岡での生活や将来について、日頃考えていることがありましたら自由にご記入ください。

【主なもの】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

・医療費の負担軽減のため、盛岡市の特定検診項目に超音波検診(エコー検査)を追加して欲しい。もりおか復興支援センターの支援員？の巡回で、少々の会話だけでもホッとすることが多いので巡回を増やして欲しい。

・盛岡に来て足掛け10年。支援センターの方々には気にかけていただき入院時の見守り、付き添いなど本当にお世話してもらい助かりました。

・元住んでいた市に行ってみたいが、106号の道路が改良されて時間的に速くなったものの、トンネルが多くなり、車の運転が怖くて行けない。1年に1回でもバスでふるさとへ行ける取り組みがあったらいいと思う。沿岸を一周してみたいです。もりおか復興支援センターや青山コミュニティ番屋を存続させてほしいです。

・医療費の無料が終了すると、5~6ヶ所以上医療機関に通っており医療負担が大きくなり生活が出来なくなる。

・十分すぎる支援をいただいていると思っています。アンケートはちょっと選択肢が答えにくかったです。

・震災にあい盛岡で生活している息子の家に同居している。交友関係がなく近所との付き合いがないので家にいることが多い。

・足が不自由になると交通費の面が大きいです。買い物できる何かの便があればいいです。(買物などのタクシーとか) 低所得でも安心して入れる施設が欲しいです。

・医療費免除で本当に安心して病院へ行けますし助かっています。感謝しております。

・十分に支援していただいたので、これ以上は望みません。ありがとうございました。平穏な生活が、このまま続いていけば、それで満足です。

・被災した両親が盛岡に移住したが、この10年で、2人共介護の状態になってしまった為に東京より親の自宅介護の必要性がなくなるまでと引っ越してきた。何かしらの仕事があると思っていたが、介護しながらの、時間に制約がある状態だと、驚く程に仕事が無い。子供も小学生でこれからお金がかかるのにと考えると将来が不安。又、在宅での介護サービスにどのような物があるのかといった情報も少ない。被災した人も、そのほかの方も、情報は必要だと思う。以前市役所へ行った際も、職員の方は詳しいとは言えない情報量だった。

・何より第一に医療費の補助をお願いしたいです。

・他県から来ていろいろご支援をいただき、毎日感謝致して居ります。散歩をする様に頑張っ居りますが道のところどころに腰かけがあると助かります。

・盛岡に暮らして生活に痛手に感じるのは、光熱費、特に都市ガスが高すぎること。

・他市町村に暮らしている人達との交流会を望みます。

・人によって支援は、差がかなりあると思う。たまたま私は、大丈夫でしたが、知人などは二重ローンをかかえていたり、いつも笑顔で接してくれる親戚の方など、夫がまだみつからず心の奥に悲しみを隠して生活している方もいられます。私をふくめ、人生が大きく変わってしまった人が、少なからずおられます。

・買い物いけず走るスーパーがあればと思う。

・自分の出身町の先の見えない問題、相続問題があります。弁護士、司法書士、行政書士、みんな安くない程のお金がかかります。もっと楽に安心して相談できる、あまりお金のかからない、システムはないものだろうか？これが一番困っている事です。沿岸の市町村の、空地になった土地が、売れなくて困っているのではなく、他の人も皆、相続問題が解決していないため、空いているのです。自分のふるさとに帰れず、家も建てられないでいるのです。

・高齢者の一時的な預り所が必要。家族が旅行→一人で不安→病院入院ほどではない→1～3日預かってくれる施設があると、家族全体が助かる

・盛岡に移住する前は、雪かきとは縁遠い生活でしたが、高齢化に伴って年々大変になると思います。雪かきボランティアの存在も知っていますが、ためらいもあり、依頼しないと思います。その点が不安です。

・被災者の声(意見、俳句、短歌、川柳、情報、紀行等々)を回覧できるものを作ってはどうでしょうか。

・医療費や介護費の自己負担免除を終了しないでいただきたい。

・一人ずまいなので老後の事が心配です。

・とにかく家賃補助を要望します。この様なアンケートに必ず記入していますが、盛岡市独自で予算を組み、被災者(自主避難を含め)を助ける姿勢を示してほしいです。この声がしっかり届く行政を願います。盛岡市として、復興をどう考えているのか、現在の市政からは、あたたかい気持ちは感じ取れません。少数意見もしっかり反映される事を願っています。

・世界や国内では、災害が増えています。盛岡では、地震や台風の被害は、今までは少ないですが、他人事と思わないで、どこかで誰かが被災していることは忘れないで欲しいです。私は年齢的にも体力的にも無理はありますが、思いやることはできます。

・市民税たかいです。市役所と駅がとおいです。市役所の駐車場もせまい。コロナのワクチンもおそかった。他の市よりだんぜんおそかった。なぜ?!とにかく、もう番屋、もりおか復興センターは、いららないと思いました。

・月が丘は市内から遠いので、交通費がかかる(バス代)その分、環境は良く、岩手山が見える。約3年眺めて暮らし、気が晴れることも多いので、やはり貴重な事だと思っている。収入さえ安定すれば災害公営住宅は住みやすいかもしれない。

・公園がたくさんあるのはいいが、屋内でも子供達が遊べる施設があるといい。子供(18才まで)の医療費を無料にして欲しい。寒冷地でも暖かく過ごしやすい様に、新しく暖房機を入れる(購入する)際、補助をする。

・私達家族はみなさまのご支援により、自宅を再建することができました。心から感謝しております。震災から10年経った今でも、ご高齢の方やひとり親世帯の方など生活が苦しいという話を耳にします。その様な人達に希望が持てるご支援を考えて頂きたいと思います。

・盛岡市に転居してから、子育て、親の最期などの様々なことがありました。現在、60才ですが、仕事がついで、少しでも楽な仕事に就きたいと思っています。しかし、現実はなかなか職探しができず、また、借金もあるため、転職したとしても今ぐらいの収入がないと生活していけないのが現状です。政府の方針では、今後被災者の生活を再度支援できるような政策を望んでいます。地元を離れた人の方が、生活に困窮しているのが現実です。医療費も、支援金も途中で打ち切りになったため。支援金(義援金)は、転居した方達にも平等にしてほしいです。

・娘が月2回来て買物他生活支援をしてきていました。コロナ感染が起きてから娘と接するとデイサービスから訪問介護迄それ迄使っていた介護保険のサービスを拒否されるようになりました。娘と接した次の日から全ての介護サービスが受けられず独居ゆえに人とのつながりも絶たれる生活を強いられています。自分も娘もワクチン接種2回迄終わっても緊急事態宣言が解除になっても今も変わらず2週間介護保険のサービスを受けられずにおります。2020年コロナ感染が流行しはじめた時からずっと娘と感染防止対策をしながら娘も月2回盛岡に通い続け今日迄自分も娘もコロナ感染陽性者にならずに過ごしてきました。人と人との交流の大切さは貴支援センターに職員の皆さんにはよく御理解頂けていると思います。この2週間のサービスを受けられない問題をいい加減見直しをして欲しいと思います。

・他県からの移住なので、盛岡の良い所等全て分かっているわけではない。子どもたちもいるので、子どもの成長のために必要な情報等を充実してほしい。

・医療費の免除は目にみえて、すべての被災者に公平で一番ありがたかった。

・どこにいても、70才代になれば、心身共に弱る事と思いますが、盛岡に一人で移住してこなければならなかった10年の、心身のおとろえはきついと思っています。しかし、やはり心の支えになっていただいているのは、同じ苦しみを、体験した人との交流が一番力になります。医療費が12月で終わりが一番心配です。これから病気になるのが目に見えてきて、心配です。

・いつ、何が起きるかわからないので、想定外といわないよう備え、日頃の訓練と思って自分で考えられる範囲で準備しようとしている(都合がつく金額内で)。備品、備蓄(食品、水、携帯トイレ等)しているつもりです。盛岡市近くでは青山支所、青山活動センター、西消防署、青山小、厨川中、西部公民館、平和台公民館等備蓄をおねがいします。知り合いも少ないので支援センターがたよりです。青山に出来たので、心強い、安心して相談できるので、長くやってほしい。

・3.11の震災の夕方二才の子が熱を出して、村の病院は電気もつかず、休院ときき、盛岡の友だちに電話してすぐに盛岡に来ました。アパートを借りて住んでおりました。子供たちの将来のことを考えて定住となりました。被災地の古屋の解体、被災地の先代の墓、被災地の先代からあずかった土地の管理、仕事と子育て中で何も出来ていないので、心配しています。

・今後何才まで働く事ができるか心配な事もございます。仕事がなくなった時災害公営住宅に入れるか?と考えた事があります。収入がない時も支援があればと思う時もございます。よろしくお願い致します。

・被災したからと言って、いつまでも盛岡市に甘えているのはよくないと思う。自立できる人は、ちゃんと自立したほうが良い。

・高齢者も乗り降り出来やすいバスも有ると外出して見たいです。

・復興の為に頑張っている方々に心から敬意を表したい。個々の被災者の事情は千差万別。復興は日々確実に進んでおり、個人的な事情、心情を前面に出してのコメントは避けたい。